

SECTION

01

WordPressの特徴を知ろう

第1章ではWordPressがどのようなソフトウェアであるのかを知り、パソコンにインストールする方法を学びます。まずは、WordPressの特徴について見ていきましょう。

WordPressとは

WordPressはもともとブログを作成するためのソフトウェアとして、2003年に誕生しました。その後、世界中のボランティアによって改良され続け、2010年頃からはブログだけでなく一般的なWebサイトの作成にも多く採用されるようになりました。

2022年現在では世界中のWebサイトのうち約43%がWordPressで作られ、同種のソフトウェアの中でも圧倒的なシェアを占めています。このため、Web制作にかかわる人であれば習得しておきたいスキルの1つといえるでしょう。

図 1-1 WordPress.org 日本語サイト (<https://ja.wordpress.org/>)

WordPressの日本語版をダウンロードできるほか、WordPressの公式情報が得られます

POINT

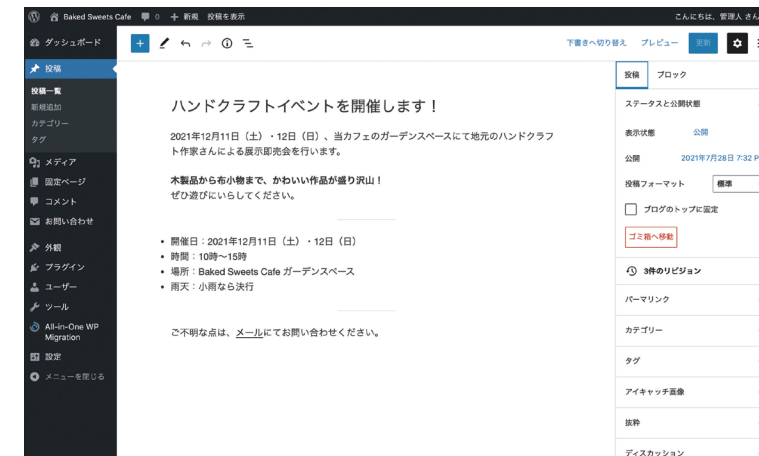
WordPressはGPLというライセンスを採用しているため、個人でも商用でも誰もが無料で使用することができます。

◎ 専門知識不要でWebページを作成できる

WordPressはWeb制作の専門的な知識や特別なツールがなくても、Webブラウザ上でWebページを作成したり内容を更新したりすることが可能です。

こうしたシステムをCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）といい、Webページ内の文書や画像などの管理を誰でもかんたんに行うことができます。

図 1-2 WordPressの投稿画面



投稿画面からページタイトルや本文を入力したり、画像をアップロードしたりします

図 1-3 生成されたWebページ



作成した内容は、自動的にWebページとして生成されます

SECTION

01

管理画面の見方を覚えよう

WordPressにログインすると、まず「ダッシュボード」という画面が表示されます。ここでは管理画面の構成を知り、基本的な使い方を覚えましょう。

◎ 管理画面全体の構成

管理画面は主に、上部にある「ツールバー」、左サイドにある「メインナビゲーションメニュー」、中央部の「作業領域」で構成されています。

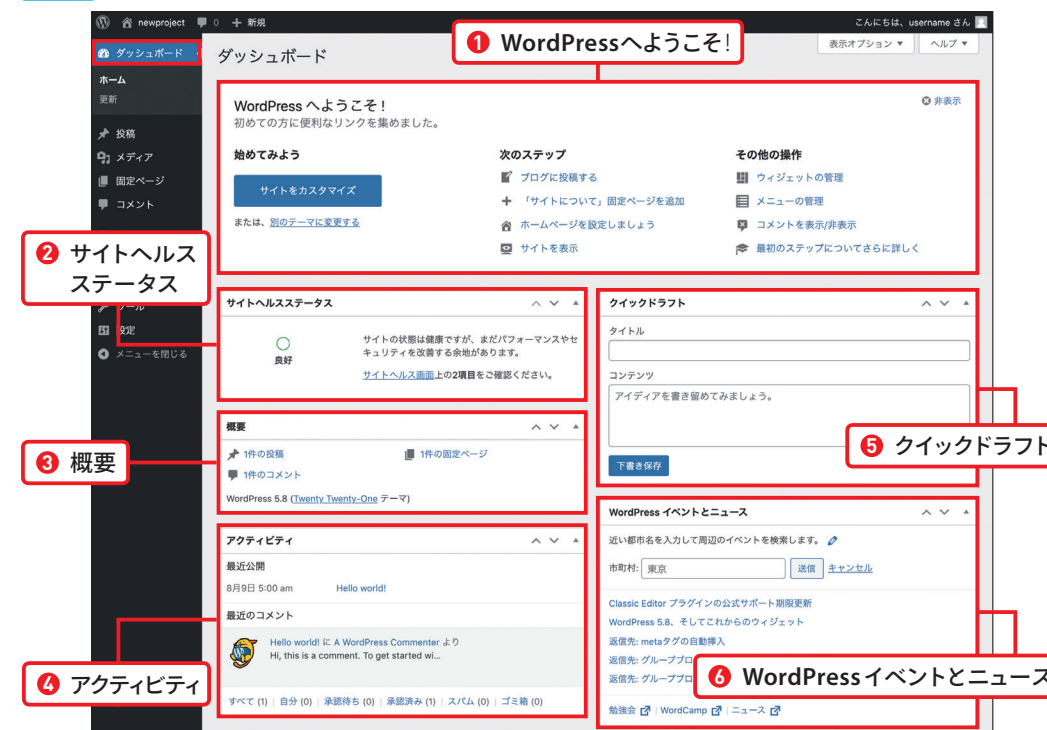
図 2-1 管理画面全体の構成



◎ ダッシュボードの構成

ダッシュボードとは管理画面のトップページのようなもので、以下の項目が表示されています。ダッシュボードを開くには、メインナビゲーションメニューの「ダッシュボード」をクリックします。

図 2-2 ダッシュボードの構成



1 WordPressへようこそ！

管理画面内でよく使う機能へのリンクや困ったときに役立つリンクが掲載されています。WordPressのバージョンによっては、表示内容が異なる場合があります。

2 サイトヘルスステータス

WordPress本体やプラグイン、テーマ、サーバー環境など、Webサイトの健全性に関する診断結果が表示されます。

3 概要

現在の投稿やページ数、コメント数の現況が表示されます。

4 アクティビティ

最近の投稿概要やコメントが表示されます。

5 クイックドラフト

投稿の下書きを簡易的に入力できます。

6 WordPressイベントとニュース

WordPress公式ローカルサイトの最新記事やフォーラムへの最新投稿が表示されます。

SECTION 01 テーマを変更しよう

Webサイトを作成するには、まずサイトの見た目を決めるテーマを選択する必要があります。このセクションでは、テーマのインストールから有効化までを解説します。

◎ テーマを有効化する

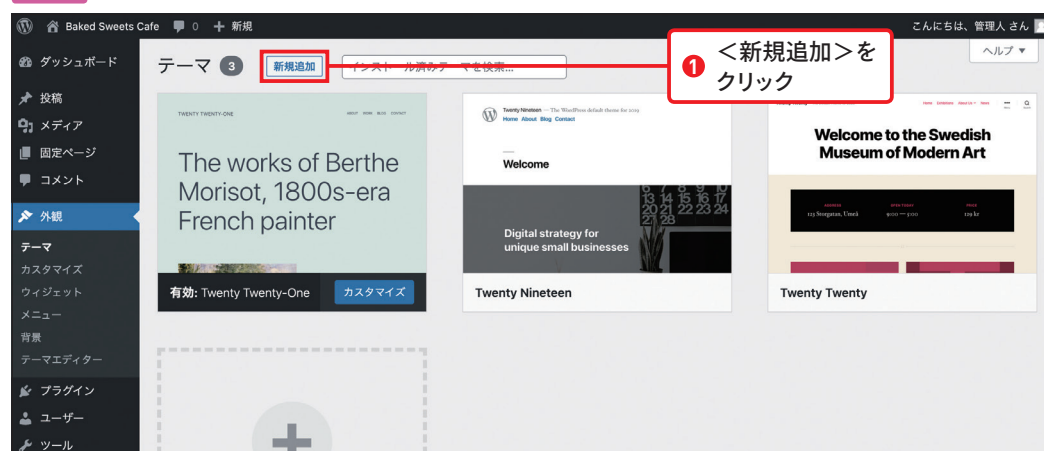
WordPressには、本体をインストールするとデフォルトで付属しているテーマがあります。これを「デフォルトテーマ」といい、毎年のように新しいデフォルトテーマがリリースされています。

本書では、2017年のWordPressデフォルトテーマである「Twenty Seventeen」を使用して解説を進めます。まずは「Twenty Seventeen」をインストールし、有効化します。

▶ テーマをインストールする

管理画面から＜外観＞→＜テーマ＞を開き、＜新規追加＞をクリックします①。

図 3-1 テーマ画面で＜新規追加＞をクリック



検索窓に「twenty seventeen」と入力し②、テーマを検索します。「Twenty Seventeen」のサムネイルが表示されたら、マウスポインターを合わせて＜インストール＞をクリックします③。自動でインストールが始まるので、完了するまで待ちます。

図 3-2 テーマをインストール



▶ 「Twenty Seventeen」を有効化する

インストールが完了したら、＜有効化＞をクリックします①。

図 3-3 テーマを有効化



SECTION

01

投稿と固定ページについて知ろう

WordPressには、「投稿」と「固定ページ」という2種類のページ作成機能があります。一見すると違いがわかりにくいのですが、それぞれ異なるしくみを持っています。ここでは2つの役割の違いについて理解し、目的に合わせて使い分けられるようにしましょう。

4

Webサイトに載せるコンテンツを作ろう

◎「投稿」と「固定ページ」の違い

▶ ブログ記事やニュース、コラムは「投稿」で作成

「投稿」には下記のような特徴があり、ブログ記事やニュース、コラムなどのように、時系列やカテゴリー別に積み重ねたいコンテンツを作成するのに適しています。

- 新着順など時系列順に一覧表示できる
- カテゴリーやタグで分類できる
- RSSが生成される

▶ 会社概要やお問い合わせは「固定ページ」で作成

「固定ページ」には下記のような特徴があり、時系列に関係のない常設コンテンツを作成するのに適しています。企業のWebサイトの場合、会社概要やお問い合わせなどのWebページは、固定ページで作成します。

- 時系列に関係なく、アーカイブページにも表示されない
- Webページに親子関係を持たせ、階層化できる
- Webページごとに異なるテンプレートを適用できる

図 4-1 投稿で作成したコンテンツの一覧ページ



個別の投稿ページ



4

Webサイトに載せるコンテンツを作ろう

図 4-2 固定ページで作成した店舗概要のアクセスページ



SECTION

03

画像を挿入しよう

投稿の本文には、テキストだけでなく画像を配置することも可能です。ここでは、投稿に画像を挿入する方法を覚えましょう。

◎ 画像を挿入する

投稿の本文の下に画像を追加しましょう。P.075を参考に投稿の新規追加画面で投稿のタイトルと本文を入力したら、**[Enter]** キーを押して新規ブロックを追加します^①。次に、新規ブロックの右側にある**<+>**をクリックします^②。

図 4-16 新規ブロックを追加



表示されるメニューから**<画像>**をクリックします^③。**<アップロード>**をクリックするとダイアログボックスが表示されるので^④、任意の画像を選択し^⑤、**<開く>**をクリックします^⑥。ここでは、サンプルファイルのmuffin.jpgをアップロードします。

図 4-17 画像をアップロードする



アップロードが完了すると、本文の下に画像が挿入されます。

図 4-18 アップロードが完了した



SECTION

08

トップページを作ろう

Webサイトにアクセスした際、一番最初に表示される「トップページ」を作成していきます。ここでは見出しを表示する「見出しブロック」、最新の投稿内容を表示する「最近の投稿ブロック」の使い方を理解しましょう。

4

◎ お店の紹介を入力する

ここからは、P.096で作成した固定ページを編集していきます。トップページ (Concept) には、お店の紹介と、新着の投稿記事を表示します。まずは管理画面から<固定ページ>→<固定ページ一覧>をクリックし①、固定ページの一覧画面を開きます。<Concept>にマウスポインターを合わせ②、<編集>をクリックすると③、「Concept」ページの編集画面が表示されます。

図 4-48 Concept の編集ページを開く



店内写真の挿入と、お店の紹介文の入力を行います。P.078と同様の手順で、画像ブロックを使って concept.jpg を挿入します④。画像の設定を変更する必要はありません。

図 4-49 店内写真の挿入



続けて、画像の下に段落ブロックに紹介文を入力します⑤。

図 4-50 お店の紹介文を入力



4

SECTION

01 メインメニューを設定しよう

WordPressでは管理画面のメニュー機能を使って、任意のナビゲーションメニューを作成・編集することが可能です。ここでは、第4章で作成した固定ページをナビゲーションメニューに設定します。

◎ メニューを作成する

ナビゲーションメニューとは、Webサイト内にあるほかのWebページに移動するためのリンクのことで、PCサイトでは主にWebページの上部やサイドバーなどに配置されています。ナビゲーションメニューがあることでWebページ間の移動がスムーズになるのはもちろんのこと、そのWebサイトにどのようなWebページがあるのかを明示することができます。

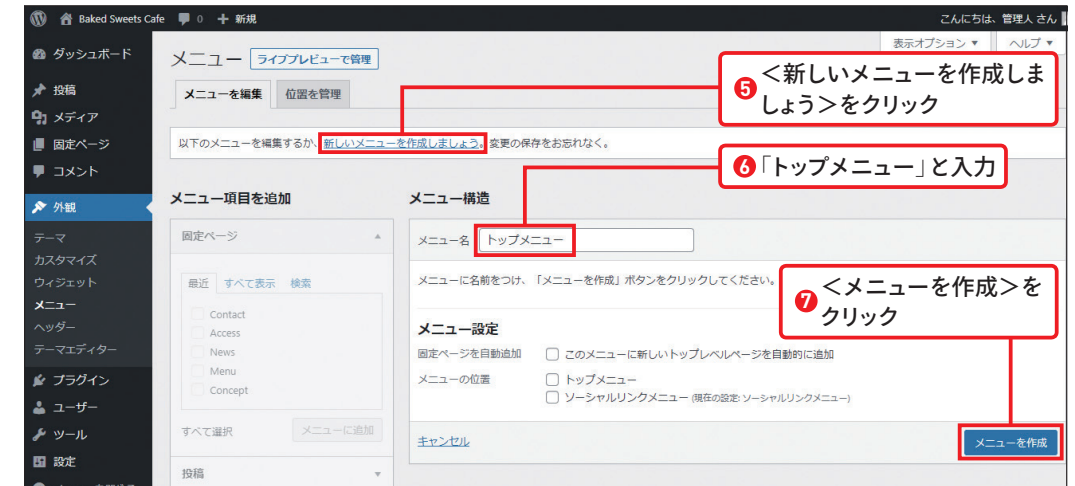
まずは不要なデータを削除しましょう。管理画面から<外観>→<メニュー>をクリックし①、「メニュー」画面を開きます。「編集するメニューを選択」から<トップメニュー（トップメニュー）>を選択し②、<選択>をクリックして③、<メニューを削除>→<OK>をクリックします④。

図5-1 不要なメニューの削除



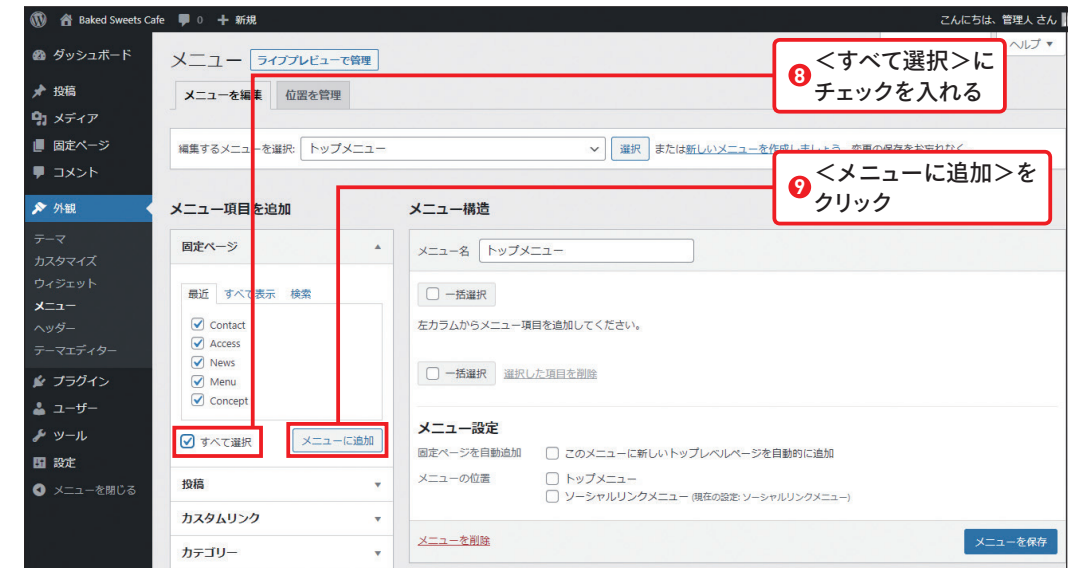
続いて、新しいメニューを作成します。＜新しいメニューを作成しましょう＞をクリックし⑤、「メニュー名」に「トップメニュー」と入力して⑥、＜メニューを作成＞をクリックします⑦。

図5-2 メニュー名を入力して<メニューを作成>をクリック



画面左の「固定ページ」に表示されている<すべて選択>にチェックを入れ⁸、<メニューに追加>をクリックします⁹。

図5-3 メニューを追加



SECTION

01

プラグインを
インストールしよう

プラグインとは、アプリケーションに機能を付け加えるためのソフトウェアのことです。プラグインを利用すると、WordPressサイトに必要な機能をかんたんに追加することができます。まずは、日本語環境のWordPressに必須の「WP Multibyte Patch」というプラグインをインストールしましょう。

「WP Multibyte Patch」をインストールする

WordPressはもともと英語圏で作られているため、日本語のようなマルチバイト文字を使用すると不都合が生じる場合があります。これを解消し、正しく動作させるためのプラグインが「WP Multibyte Patch」です。

管理画面から<プラグイン>→<新規追加>をクリックし①、「プラグインを追加」画面を開きます。検索フォームに「WP Multibyte Patch」と入力し②、「WP Multibyte Patch」が表示されたら、<今すぐインストール>をクリックします③。

図 6-1 プラグインを検索してインストール



POINT

LocalでWordPressをインストールした場合は「WP Multibyte Patch」がインストールされていますが、国内のレンタルサーバーからWordPressを自動インストールした場合は、あらかじめ「WP Multibyte Patch」がインストールされていることがあります。その場合はインストールは不要です。

インストールが完了すると<有効化>ボタンが表示されます。プラグインはインストールしただけでは動作しないため、<有効化>をクリックします④。しばらくすると、「プラグインを有効化しました。」と表示されます⑤。「WP Multibyte Patch」は特別な設定を必要とせず、有効化するだけで機能します。なお、有効化したプラグインを停止したり、削除したりするには、管理画面から<プラグイン>→<インストール済みプラグイン>をクリックして「プラグイン」画面に移動し、プラグインの<無効化>や<削除>をクリックします。

図 6-2 プラグインを有効化



COLUMN プラグインの注意点

管理画面から追加できるプラグインは、すべてボランティアの開発者によって作られています。無料で使用できる反面、プラグインの名前が変わってしまったり、突然プラグインがなくなってしまうたり、アップデートなどのサポートが行われなくなったりするといったケースもあります。

SECTION

01

テーマをカスタマイズしよう

既存のテーマは、そのまま使用するだけで見栄えのよいWebサイトが完成しますが、見せ方を工夫したかったり、よりオリジナリティを出したかったりと、カスタマイズが必要となる場面があるでしょう。ここでは、CSS（カスケーディングスタイルシート）を用いて既存テーマをカスタマイズする方法について解説します。

◎ 既存テーマを利用するメリット

完全にオリジナルなWebサイトを作るのであれば、オリジナルテーマをイチから作ることが望ましいのですが、それには多くの知識や労力が必要となります。そこで、ぜひ身に付けておきたいのが、テーマのカスタマイズテクニックです。

既存テーマを利用して、見た目を変更したい部分だけをカスタマイズすることで、オリジナルに近いWebサイトを比較的に簡単に作ることができます。また、昨今の既存テーマのほとんどがスマートフォンなどのマルチデバイスに対応した「レスポンシブWebデザイン」で作られているため、特別な知識がなくてもスマートフォンで見やすいWebサイトを作ることができます。

図7-1 オリジナルテーマの作成と既存のテーマのカスタマイズの比較

オリジナルテーマの作成



既存テーマのカスタマイズ



◎ テーマのカスタマイズに必要な知識

テーマの見た目をカスタマイズするうえで最低限必要なのは、HTMLとCSSの基礎知識です。本書ではカスタマイズの手順を解説します。

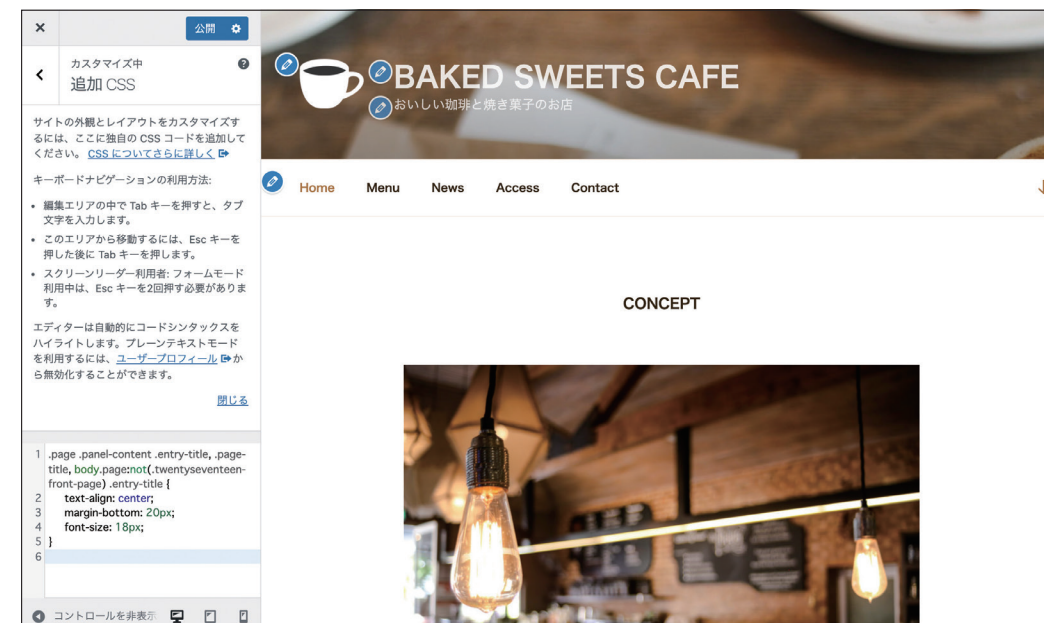
▶ 既存テーマを選択する

既存テーマを選ぶ際には、作りたいWebサイトのイメージや構成にできるだけ近いものを選びます。シンプルなテーマは独自の機能が少ない反面、カスタマイズしやすいというメリットがあります。逆に、多機能なテーマはファイルが複雑でカスタマイズが難しい場合があります。本書では、ここまで利用してきた「Twenty Seventeen」をカスタマイズしていきます。

▶ 既存テーマのカスタマイズには「追加CSS」を使う

既存テーマをカスタマイズするには、「追加CSS」という機能を利用します。元のテーマファイルを直接編集することなく、必要な部分だけを上書きしてカスタマイズするため、PHPなどの難しい知識は必要ありません。

図7-2 「追加CSS」は変更したいところだけ記述すればよい



SECTION 01 レンタルサーバーと契約しよう

Webサイトをインターネット上に公開するためにはサーバーが必要となります。自分でサーバーを構築するのは難しいので、レンタルサーバーを契約しましょう。ここではレンタルサーバーの選び方、独自ドメインの取得、WordPressの自動インストールについて解説します。

◎ レンタルサーバーと契約する

ここまで、ローカル環境でWebサイトを構築してきましたが、Webサイトをインターネット上に公開するためにはWebサーバーが必要となるため、まずはレンタルサーバーと契約をします。

レンタルサーバーを選ぶ際には、WordPressが動作する要件を満たしているかを、必ず確認しましょう。また、WordPressをかんたんにインストールできる機能が提供されていると非常に便利です。一般的に個人が契約するレンタルサーバーの月額費用は、おおむね500円～1,500円程度です。レンタルサーバーを選ぶ際には価格だけでなく、安全性・安定性・サポート体制も比較したうえで検討しましょう。

● WordPress日本語版の推奨動作環境

- PHPバージョン7以上
- MySQL 5.6/MariaDB 10.0 以上

次のページでは、WordPressの自動インストール機能に対応している主なレンタルサーバーを紹介します。契約の手順はレンタルサーバーによって異なるので、それぞれの画面に従って操作してください。

POINT

多くのレンタルサーバーでは、無料で試すことができる「お試し期間」が設けられています。こうしたサービスを利用して、実際の使い勝手などを比較検討するとよいでしょう。

▶ 主なレンタルサーバー

レンタルサーバーで有名なのは、「エックスサーバー」(<https://www.xserver.ne.jp/>)、「さくらインターネット」(<https://www.sakura.ad.jp/>)、「ロリポップ!」(<https://lolipop.jp/>) などです。いずれも容量や機能に応じて複数のプランが用意されていますが、必ずWordPressに対応したプランを選択してください。利用するサービスを決めたら、Webサイトの<お申し込み>などのボタンをクリックして、契約者情報などの必要事項を入力し、申し込みを行います。申し込み完了後はメールが届くので、内容を確認しておきましょう。

図 8-1 エックスサーバー



図 8-2 さくらインターネット

